

(2)令和4年度入学生

教科等	科目	学年		第1学年		第2学年		第3学年	
		クラス		基礎	進学	基礎	進学	基礎	進学
		標準単位数	設定単位数	単位数		単位数		単位数	
国語	現代の国語 ○	2	2	2	2				
	言語文化 ○	2	2		2	2			
	論理国語	4	4			②	②	②	②
	文学国語	4	4			②	②	②	②
	国語表現	4	4			②	②	②	②
	古典探究	4	4			②	②	②	②
地理歴史	地理総合 ○	2	2	2	2				
	地理探究	3	3				③	③	
	歴史総合 ○	2	2			2	2		
	日本史探究	3	3					③	③
	世界史探究	3	3					③	③
公民	公共 ○	2	2	2	2				
	倫理	2	2						②
	政治・経済	2	2			②	②		
数学	数学Ⅰ ○	3	3		3	3			
	数学Ⅱ	4	4				④		
	数学Ⅲ	3	3						③
	数学A	2	2				②		
	数学B	2	2						②
	数学C	2	2						②
理科	科学と人間生活	2	2			2	②		
	物理基礎	2	2				②		
	物理	4	4						④
	化学基礎	2	2				②		
	化学	4	4						④
	生物基礎	2	2	2	2				
保健体育	体育 ○	7	8~10	2	2	4	4	4	2
	保健 ○	2	2	1	1	1	1		
芸術	書道Ⅰ	2	2			②	②		
	書道Ⅱ	2	2					②	②
	音楽Ⅰ	2	2	2	2				
	音楽Ⅱ	2	2					②	②
	美術Ⅰ	2	2			②	②		
	美術Ⅱ	2	2					②	②
外国語	英語コミュニケーションⅠ ○	3	3	3	3				
	英語コミュニケーションⅡ	4	4			④	4		
	英語コミュニケーションⅢ	4	4					④	④
	論理・表現Ⅰ	2	2				②	②	
	論理・表現Ⅱ	2	2				②	②	
家庭	家庭基礎	2	2		2				
	家庭総合	4	4	2		2			
情報	情報Ⅰ ○	2	2			2	2		
総合的な学習の時間	総合的な探究の時間 ○	3	3~6	2	2	2	1	2	①
学校設定	基礎国語		2	2			②		
	国語演習		2			②	②		
	基礎数学		2	2					
	数学演習		2						②
	理科演習		2						②
	基礎EnglishⅠ 音声表現1		1	①	①				
	基礎EnglishⅡ Laungedge Arts		1	①	①				
	基礎EnglishⅢ 音声表現2		2			②	②		
	英語演習		2					②	②
	情報演習		2						2
○ は必修科目 ● は選択必修科目		予定履修数		24	25	28	30	22	19
特別活動	HR	3	3	1	1	1	1	1	1

1年 ○数字から追加選択可  
 2年 ○数字から8単位以上選択  
 3年 ○数字から14単位以上選択  
 ※2学年以降は、次年度の先取り履修を認める場合がある。

# 令和5年度高等学校定時制課程使用教科書

教科	科目	出版社	教科書名	学年
国語	現代の国語	数研	高等学校 現代の国語	1年
	言語文化	数研	高等学校 言語文化	1年
		第一	高等学校 言語文化	2年基礎
	論理国語	東書	精選 論理国語	2年
	文学国語	東書	文学国語	選択2年文
	現代文B	三省堂	明解現代文B 改訂版	3年文
	国語表現	第一	高等学校 国語表現	選択3年文
	古典B	大修館	新古典B 改訂版	選択 3年文
地理歴史	地理総合	帝国	高等学校 新地理総合7	1年
	地理探究	東書	地理探究	選択2年文
	地理B	東書	地理B	選択3年文
	歴史総合	山川	歴史総合 近代から現代へ	1・2年
	日本史A	実教	高校日本史A 新訂版	選択3年文
公民	政治・経済	第一	高等学校 政治・経済	選択2年文
		第一	最新政治・経済 新訂版	3年文
数学	数学Ⅰ	啓林館	新編数学Ⅰ	1年
		数研	新 高校の数学Ⅰ	2年基礎
	数学Ⅱ	啓林館	数学Ⅱ	選択2年
		東書	数学Ⅱ Standard	3年理
	数学A	啓林館	新編数学A	1年・選択2年
	数学B	啓林館	数学B	2年理
東書		数学B Standard	3年理	
理科	物理基礎	啓林館	高等学校 物理基礎	2年理
	化学基礎	東書	化学基礎	2年理
	生物基礎	東書	生物基礎	1年
	化学	実教	新版化学 新訂版	選択3年理
	生物	啓林館	生物 改訂版	
	科学と人間生活	東書	科学と人間生活	2年文・基礎
保健体育	保健体育	大修館	現代高等保健体育	1・2年
芸術	音楽Ⅱ	教芸	MOUSA 2	選択3年
	美術Ⅱ	光村	美術 2	
	書道Ⅱ	東書	書道Ⅱ	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	啓林館	LANDMARK English CommunicationⅠ	1年
	英語コミュニケーションⅡ	数研	COMET English CommunicationⅡ	2年
	コミュニケーション英語Ⅲ	東書	All Aboard! English CommunicationⅢ	3年
	論理・表現Ⅰ	啓林館	Vision Quest English Logic and ExpressionⅠ Standard	1年
		数研	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅠ	2年
	論理・表現Ⅱ	数研	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ	選択2年
家庭	家庭基礎	実教	家庭基礎 気づく力 築く未来	1年
	家庭総合	東書	家庭総合 自立・共生・創造	2年基礎
情報	情報Ⅰ	実教	図説 情報Ⅰ	2年

教科	国語	科目	言語文化	授業 時数		週2時間		教材	言語文化 第一学習社	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組										
	時期	項目					到達目標				
前期	4月	古典入門 『宇治拾遺物語』『竹取物語』					・品詞の分類、用言の活用など文語の決まりを理解する。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。				
	5月	歌物語 『伊勢物語』					・文章の種類をふまえて、内容や展開を的確に捉える方法を学ぶ。 ・話の中で和歌が果たしている役割をおさえ、歌物語としての特徴と読み解き方を理解する。				
	6～7月	随筆・日記 『枕草子』『土佐日記』					・自由に記述された随筆を読み、当時の人々の生活感やものの見方、考え方を理解する。 ・助動詞の意味、接続、活用と古典文法の基礎知識を身につける。				
	<b>第1回定期試験</b>										
夏 休 み											
前期	9月	近現代の詩歌 言語活動 折句を用いて短歌を作る					・詩歌に表れる特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 ・折句を用いて感じたことを短歌で表す方法を学ぶ。				
後期	10月～12月	漢文入門 故事成語 「狐借虎威」「蛇足」 故事成語を調べる 防災について 史伝 「完璧」「臥薪嘗胆」					・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・故事成語を通して、災害に対する普段の備えについて考える。  ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた蘭相如の考え方や人物像を読み取る。				
		<b>第2回定期試験</b>									
冬 休 み											
後期	1月～3月	古典の詩歌 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』					・和歌の鑑賞の仕方を理解し、和歌の特色を捉える。				
		俳諧紀行文 『奥の細道』					・散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。				
	<b>第3回定期試験</b>										
備考	<p style="text-align: center;">★授業の進捗等によって、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更することがある★</p> <p>【第一回試験範囲】 『宇治拾遺物語』『竹取物語』『伊勢物語』『枕草子』『土佐日記』</p> <p>【第二回試験範囲】 近現代の詩歌/「故事成語」/「史伝」</p> <p>【第三回試験範囲】 『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』『奥の細道』</p>										

教科	国語	科目	文学国語	授業 時数	週 2 時間	教材	文学国語 東京書籍	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年1組 (文系)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【随筆】『雨月物語』 木内昇</li> <li>●【小説】『沖縄の手記から』 田宮 虎彦 <ul style="list-style-type: none"> <li>◎防災について</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: center;">第一回 定期試験</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の体験から筆者の感想にいたる迄の経緯と心情を理解させる。</li> <li>・筆者の子供時代からの「物語」について、『雨月物語』が与えた影響を捉えて、大人との違いや共通点についてを考える。</li> <li>・戦争についての知識を確認しながら登場人物の状況、生き方や考え方を理解する。</li> <li>・登場人物の行動と心情の展開を確認し、人間の生と死や主題について考える。</li> <li>◎非常時における防災について考える。</li> </ul>				
夏 休 み									
前期 ～ 後期	9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【詩】『竹』 萩原朔太郎</li> <li>●【小説】『ころ』 夏目 漱石</li> <li>●近現代の文学史について①</li> </ul> <p style="text-align: center;">第二回 定期試験</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の表現上の特徴と効果等から、詩の世界や込められた心情を理解する。</li> <li>・心情表現や比喩表現を捉えて、登場人物の心情や行為の意味を理解する。</li> <li>・複数の解釈が可能な言葉や行為について、登場人物の立場や状況を整理し、心情の変化から「エゴイズム」について考える。</li> <li>・近現代の文学史についてプリント等を使用し、時代背景を整理して把握する。</li> </ul>				
冬 休 み									
後 期	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●【評論】『文学のふるさと』 坂口 安吾</li> <li>●【言語活動】「評論や解説を参考に論述する」</li> <li>●近現代の文学史について②</li> </ul> <p style="text-align: center;">第三回 定期試験</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例と筆者の主張との関係に注意し、構成が明確な評論を読むことを通して、論理の展開をつかむ。</li> <li>・内容を自分に重ねながら、文学のよりどころについて理解する力を養う。</li> <li>・今までに触れた文学作品から、問いの設定や構想を立てて論述し、話し合う活動を行うことで作品を探求する。</li> <li>・近現代の文学史についてプリント等を使用し、時代背景を整理して把握する。</li> </ul>				
備 考	<p style="text-align: center;">★授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★</p> <p style="text-align: center;">※記載作品中や用意したテキストを基に、文学史や漢字の読み取り・書き取りの小テストを行う。</p> <p>【第一回 定期試験範囲】 『雨月物語』／『沖縄の手記から』</p> <p>【第二回 定期試験範囲】 『竹』／『ころ』</p> <p>【第三回 定期試験範囲】 『文学のふるさと』／近現代の文学史①・②</p> <p style="text-align: center;">★定期試験については、各回ともに記載作品の中から 単元を選択して 出題するものとする★</p>								

教科	国語	科目	論理国語	授業 時数	週 2 時間	教材	精選論理国語 東京書籍	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組 (共通)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『ミロのヴィーナス』 清岡卓行</li> <li>●『相手依存の自己規定』 鈴木孝夫</li> <li>●「論理とは何か」 1 つなげる力</li> </ul> <p style="text-align: center;">第一回 定期試験</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の実感を論理的に証明していく全体の文章構成を把握する。</li> <li>・筆者の抽象的な表現を具体化して、芸術の見方について深める読解を目指す。</li> <li>・文章の中で取り上げられている事柄や問題に注意しながら、日本人とアメリカ人を比較していく文章構成及び筆者の主張を理解する。</li> <li>・書かれている内容を理解し、「論理的」とはどういうことかを考える。</li> <li>・「接続関係」について学び、文章を論理的に理解する力を養う。</li> </ul>				
夏 休 み									
前期 後期	9月～12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『メディアの変容』 土井隆義</li> <li>●『「リスク」と「リスク社会」』 神里達博</li> <li>◎防災について</li> <li>●「論理とは何か」 2 論証する力</li> </ul> <p style="text-align: center;">第二回 定期試験</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の変化と人間関係の変化の事例と筆者の分析の關係に注意して読む。</li> <li>・人間関係の筆者の主張を理解して、人間関係の在り方について考えを深める。</li> <li>・ドイツの社会学者であるベックとルーマンの二つの主張を的確に捉える。</li> <li>・「制御可能性」と「リスク」の關連について理解を深め、近代という時代の根本的な性質について社会全体から考える。</li> <li>◎リスクマネジメントの観点からも防災について考える。</li> <li>・論証の適切さを判断する方法を学び、説得力のある論証や反論を行う力を養う。</li> </ul>				
冬 休 み									
後期	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『日本人の美意識』 高階秀爾</li> <li>●「論理とは何か」 3 要約する力 4 質問する力</li> </ul> <p style="text-align: center;">第三回 定期試験</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・図を適切に参照して具体例を確認する。</li> <li>・「うつくし」と「きよし」という言葉から見た日本人の美意識について理解し、日本と西欧の美意識の違いを捉えて考える。</li> <li>・「幹」「枝葉」「根」という文章の構造を理解し、適切に要約する力を養う。</li> <li>・質問の意義や種類を学び、よい質問をする力を養う。</li> </ul>				
備考	<p style="text-align: center;">★授業の進度等により、取り扱う作品や授業内容・定期試験の出題範囲等を変更する場合がある★</p> <p>※記載作品中や用意したテキストを基に、漢字の読み取り・書き取りの小テストを行う。</p> <p>【第一回 定期試験範囲】『ミロのヴィーナス』／『相手依存の自己規定』／「論理とは何か」1つなげる力</p> <p>【第二回 定期試験範囲】『メディアの変容』／『「リスク」と「リスク社会」』／「論理とは何か」2論証する力</p> <p>【第三回 定期試験範囲】『日本人の美意識』／「論理とは何か」3要約する力・4質問する力</p> <p style="text-align: center;">★定期試験については、各回ともに記載作品の中から 単元を選択して 出題するものとする★</p>								

教科	地理・歴史	科目	歴史総合	授業 時数	週2時間	教材	歴史総合 山川出版社	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組									
	時期	項目			到達目標					
	前期	4月 5月 6月 7月	◆帝国主義の展開 ・帝国主義と列強の展開 ・世界分割と列強の対立 ◆第一次世界大戦と大衆社会 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・国際平和と安全保障 <b>第1回定期試験</b>			19世紀末～20世紀初、帝国主義政策の下、 列強の植民地獲得争いの本質的理由と 各国内政の展開を知る。 第一次世界大戦の原因を振り返り、大戦が各国の 社会と国際秩序にどのような変化をもたらしたのかを 考察する。				
	夏 休 み									
	前期	9月	◆経済危機と第二次世界大戦 ・世界恐慌の発生と各国の対応			戦間期における経済危機が欧米・日本にどのような 影響があって第二次世界大戦に突入したのかを 考察する。				
	後 期	10月 11月 12月	・ファシズムの台頭 ・満州事変、日中戦争 ・第二次世界大戦、太平洋戦争 ・新たな国際秩序、占領下の日本 <b>第2回定期試験</b>			社会不安のなかで台頭したファシズムと各国の対応 から大戦開戦を考える。 満州事変、政党内閣断絶から軍国主義にすすむ 日本が国際社会に与えた影響を考える。 二度の世界大戦を経て、国際社会の新たな平和への 取り組みと日本の改革を知る。				
	冬 休 み									
	後 期	1月 2月 3月	◆冷戦と世界経済 ・集団防衛体制と核開発 ・米ソ両大国と平和共存 ・冷戦構造のゆらぎと終結 <b>第3回定期試験</b>			第二次世界大戦後の米ソを中心とする集団防衛 体制の構築と核兵器開発がおよぼす国際社会への 影響を知り、その後の東西対立終結までの過程を 考える。 * 戦争時の人的災害と自然災害時の防災対策を 考える。				
	春 休 み									

教科	地理・歴史	科目	地理探究	授業 時数		週3時間	教材	地理探究 東京書籍	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組										
時期		項目					到達目標				
前期	4月	◆日本の自然環境と自然災害 ・自然災害と防災減災の取り組み						日本の自然環境の特徴を、地形と気候の視点から理解し、今後発生する可能性のある自然災害とそれに対する防災・減災について考える。			
	5月										
前期	6月	◆現代世界の諸地域 ・東アジア						中国・韓国の農業・工業、経済成長における環境への影響。近隣地域・国との新たな問題を考える。			
	7月										
		<b>第1回定期試験</b>									
夏休み											
前期	9月	◆現代世界の諸地域 ・東南アジア ・南アジア						東南アジア・南アジアの多様な文化と地域性を知りASEANの役割とかかえる問題を考える。			
後期	10月	・ヨーロッパ						ヨーロッパの農業・産業の変容から地域統合に至る動きを知り、EUの不安定要因、難民・移民の問題を考察する。 アングロアメリカの多民族・多文化社会の変容(産業・歴史・経済・文化)を知る。			
	11月	・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ									
	12月										
		<b>第2回定期試験</b>									
冬休み											
後期	1月	◆生活文化、民族・宗教 ・文化と環境 ・世界の衣食住						文化とは何かを理解し、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成・変容することを学ぶ。			
		<b>第3回定期試験</b>									
春休み											

教科	公民	科目	政治・経済	授業 時数		週2時間		教材	高等学校 政治・経済 第一学習社	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年選択										
	時期	項目				到達目標					
前期	4月	<b>第1編 現代日本の政治・経済の諸課題</b>				<p>① 経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの金融の働きと仕組みについて理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>② ①については、教科書だけでなく教員が用意した資料や生徒が所有するタブレット端末等も用い、グループワークを通じて様々な理論に触れるような授業を展開するように留意する。</p>					
	5月	第3節 市場経済の機能と限界 教科書p.64～p.91									
	5月	第4節 持続可能な財政及び租税のあり方									
	6月	第5節 金融を通じた経済活動の活性化 教科書p.92～p.109									
	7月	<b>第1回定期試験</b>									
夏休み		自宅学習				・各自、自宅にて学習に取り組む。					
前期	9月	第6節 経済活動と福祉の向上 教科書p.110～p.128				<p>③ 日本経済の歩み、農業問題、労働問題、少子高齢化社会における社会保障の充実・安定化について理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>④ 貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>⑤ ③、④については、②のように留意する。</p>					
		<b>第2編 グローバル化する国際社会の諸課題</b> 第3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 教科書p.200～p.219									
後期	10月	第1節 国際法の果たす役割 教科書p.172～p.191				<p>⑥ 国際社会の変遷、人権、国家主権、国際法の意義、国際機構の役割、日本の安全保障と防衛について理解し、現実社会の諸事象を通して多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>⑧ 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務の関係、議会制民主主義について理解し、多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。</p> <p>⑨ ⑦、⑧については、②のように留意する。</p>					
	11月	<b>第1編 現代日本の政治・経済の諸課題</b> 第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 1 政治と法の意義と機能 ～ 6 議会制民主主義と世界の政治体制 教科書p.6～p.39									
	12月	<b>第2回定期試験</b>									
冬休み		自宅学習				・各自、自宅にて学習に取り組む。					
後期	1月	第1節 日本国憲法と現代政治のあり方 7 国会の組織と立法 ～ 第2節 望ましい政治のあり方と主権者としての 政治参加のあり方 教科書p.40～p.63				<p>⑩ 国会・内閣・裁判所等の政治機構、政党政治と選挙、地方自治について理解し、多面的・多角的に考察させ、自らの意見を表現する力を養う。尚、この単元については、世論の形成などについて具体的な事例を取り上げて扱い、主権者としての政治に関する関心を高め、主体的に社会に参画する意欲を持たせるように指導する。</p> <p>⑪ 国際政治や国際経済、国際平和において果たすことができる日本の役割について、これまで学習した情報から多面的・多角的に考察させ、構想し、表現させる。尚、この単元では、「防災に見る日本の国際協力」を取り上げ、日本が防災・減災の分野において主導的な立場で国際貢献をしている事を理解させる。</p> <p>⑫ ⑩、⑪については、②のように留意する。</p>					
	2月	<b>第2編 グローバル化する国際社会の諸課題</b> 第2節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 教科書p.192～p.199 第4節 国際経済において求められる日本の役割 教科書p.220～p.227									
	3月	<b>第3回定期試験</b>									
春休み		自宅学習				・各自、自宅にて学習に取り組む。					



教科	数学	科目	数学 I	授業 時数	週3時間	教材	数研出版 新 高校数学 I	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	第2章 2次関数 第1節 2次関数のグラフ  第2節 2次関数の値の変化  第1回定期試験			2次関数のグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。  2次関数の値の変化について理解し、具体的な事象に関連した課題の解決に2次関数を活用する力を培う。次に、2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。				
夏休み									
前期	9月	第3章 図形と計量 第1節 三角比			三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。 また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。				
後期	10・11・12月	第2節 三角比への応用  第2回定期試験			図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決する力を培う。				
冬休み									
後期	1・2・3月	第4章 集合と命題  第5章 データの分析  第3回定期試験			集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。  データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力を養う。  防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
春休み									

教科	数学	科目	数学A	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 新編数学A	種別	高校	
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組									
時期	項目				到達目標					
前期	4・5・6・7月	序章 集合  第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数  第2節 順列・組合せ  第3節 確率とその基本性質  第1回定期試験					集合の用語や記号の意味を理解し、いろいろな集合を表せるようにする。また、集合の要素の個数を求められるようにする。  場合の数の意味を理解し、和の法則・積の法則を利用して、場合の数を求められるようにする。  順列の意味と、その総数を求めることを理解する。組合せの意味とその総数を求めることを理解する。  試行と事象の意味を理解し、確率の定義を理解し、確率を求められるようにする。 順列や組合せの数をを用いた確率、確率の基本性質、余事象の確率を理解し、それらの確率を求められるようにする。  防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
夏休み										
前期	9月	第4節 いろいろな確率					試行が独立であるときの事象の確率が求められるようにする。反復試行の確率を求められるようにする。条件つき確率を乗法定理を使って求められるようにする。			
後期	10・11・12月	第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質  第2節 円の性質  第3節 空間図形  第2回定期試験					三角形の性質を理解・確認をし、三角形の重心・外心・内心を理解し、それらの性質を使って問題を解けるようにする。チェバの定理とメネラウスの定理を利用した問題を解けるようにする。  円の性質について理解し、問題を解けるようにする。円と直線の関係を理解し、問題を解けるようにする。  立体の性質など空間における図形について理解する。多面体の面、辺、頂点、対角線について理解する。			
冬休み										
後期		第3章 数学と人間の活動 ユークリッドの互除法/二元一次不等式/倍数の判定 位取り記数法とn進数/座標/地球を測る 石取りゲーム/マスの敷き詰め 第3回定期試験					ユークリッドの互除法を理解し、最大公約数を求められるようにする。不定方程式を理解し、整数解を求められるようにする。 整数や座標、図形に関する概念などと人間の活動の関わりについて、数学的な見方を学ぶとともに、ゲームを通して数学と文化との関わりを知る。  防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。			
春休み										

教科	数学	科目	数学B	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学B	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	<b>第1章 数列</b> <b>第1節 等差数列・等比数列</b>  <b>第2節 いろいろな数列</b>  <b>第3節 漸化式と数学的帰納法</b>  <b>第1回定期試験</b>			数列の概念の導入後、等差数列と等比数列について理解させる。  $\Sigma$ の使い方、自然数の平方の和、階差数列、いろいろな数列の第n項の和などを理解させる。  漸化式の意味を理解し、漸化式で定義される数列の一般項を求められるようにし、数列の和を例として数学的帰納法を学ぶ。				
夏休み									
前期	9月	<b>第2章 確率分布と統計的な推測</b> <b>第1節 確率分布</b>			確率変数、確率分布の意味を理解させ確率変数の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。 二項分布の意味を理解させ二項分布の平均、分散、標準偏差を求められるようにする。				
後期	10・11・12月	<b>第2節 正規分布</b>  <b>第2回定期試験</b>			連続的な確率変数と確率分布の平均と分散を求められるようにする。正規分布の活用を学び近似を使って確率を求められるようにする。				
冬休み									
後期	1・2・3月	<b>第3節 統計的な推測</b>  <b>第3回定期試験</b>			母集団と標本について学び平均、分散、標準偏差を求められるようにする。母平均の推定や仮説検定を学び事象についての検定を行えるようにする。  防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。				
春休み									

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	<b>第3章 三角関数</b> <b>第1節 一般角の三角関数</b>  <b>第2節 三角関数の加法定理</b>  <b>第1回定期試験</b>			角を一般角に拡張し、三角関数の性質を理解させ、グラフをかけるようにする。  加法定理を理解させ、三角方程式を解けるようにする。				
夏休み									
前期	9月	<b>第4章 指数関数と対数関数</b> <b>第1節 指数と指数関数</b>			指数の基本的な性質を理解し計算ができるようにし、指数関数のグラフをかけるようにする。				
後期	10・11・12月	<b>第2節 対数と対数関数</b>  <b>第5章 微分と積分</b> <b>第1節 微分係数と導関数</b>  <b>第2回定期試験</b>			対数の基本的な性質を理解し計算ができるようにする。対数関数のグラフをかけるようにする。対数の方程式・不等式を解けるようにする。  防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。  微分係数から導関数に発展させ計算ができるようにする。				
冬休み									
後期	1・2・3月	<b>第2節 導関数の応用</b>  <b>第3節 積分</b>  <b>第3回定期試験</b>			関数の増減から極大・極小、および最大・最小を調べ関数のグラフをかけるようにする。  不定積分の定義を理解して、計算ができるようにする。定積分の性質や公式を理解して計算ができるようにする。平面図形の面積を定積分を用いて求めることができることを理解させ、面積を求められるようにする。				
春休み									

教科	数学	科目	数学Ⅱ	授業 時数	週2時間	教材	啓林館 数学Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年自由選択								
	時期	項目			到達目標				
前期	4・5・6・7月	<b>第1章 式と証明・方程式</b> <b>第1節 多項式の乗法・除法と分数式</b>  <b>第2節 式と証明</b>  <b>第3節 複素数と2次方程式</b>  <b>第1回定期試験</b>			<p>整式の乗法・除法の計算と原理を理解させる。整式の計算を除法や分数式に拡張し、整式の四則を完成する。</p> <p>等式・不等式の性質を理解し、式の証明ができるようにする。</p> <p>数の範囲を複素数に拡張し四則演算ができるようにする。複素数の範囲に拡張した2次方程式を解けるようにする。</p>				
夏 休 み									
前期	9月	<b>第4節 高次方程式</b>			因数定理を用いて高次方程式を解けるようにする。				
後期	10・11・12月	<b>第2章 図形と方程式</b> <b>第1節 点と直線</b>  <b>第2回定期試験</b>			2点間の距離や内分点・外分点を求められるようにする。直線の方程式について理解させそれを求められるようにする。				
冬 休 み									
後期	1・2・3月	<b>第2節 円</b>  <b>第3節 軌跡と領域</b>  <b>第3回定期試験</b>			<p>円の方程式について理解させ、それを求められるようにする。</p> <p>軌跡の概念を理解させ軌跡を求められるようにする。</p> <p>防災に関連付けた内容を授業に取り入れる。</p>				
春 休 み									

教科	理科	科目	科学と人間生活	授業 時数	週2時間	教材	科学と人間生活 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	全日制:2年1, 2, 4~8組 定時制:2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月 5月 6月 7月	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用  2章 ヒトの生命現象  ブタの目の解剖実験(iPadにてレポート) 第1回定期試験			身の回りの微生物が私たちの生活とどのようにかかわり、利用されているのか学び、理解する。  iPadを利用し、調べ学習を行う  生命活動の中で、身体や臓器がどのような活動を行っているのかを理解する。				
夏休み									
前期	9月	4編 宇宙や地球の科学 2章 自然景観と自然災害			身近な自然景観のなりたちについて学び理解する。 自然災害と防災への取り組みについて学び理解する。  災害と防災について各個人で調査研究し、プレゼンを行い、調べたものをまとめ、伝える能力を身につける。				
後期	10月 11月 12月	1章 太陽と地球  第2回定期試験			地球規模での水や空気の循環を学び、そこから気象災害が起こるメカニズムや地球環境についての理解や考えを深める。				
冬休み									
後期	1月 2月 3月	3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用  2章 熱の性質とその利用  第3回定期試験			光の性質、光の種類について学び理解する。  動植物が光をどう利用し、生活しているのか学び理解する。  熱とは何か、またエネルギーとは何かを学び理解する。 世界が直面する深刻なエネルギー不足について学び、これからの社会に求められるエネルギー観を身につける。				
春休み									

教科	理科	科目	物理基礎	授業 時数	週2時間	教材	物理基礎 (啓林館)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年1組(理系)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	第1部 物体の運動とエネルギー 第1章 物体の運動 速度, 加速度			身近に起こる様々な運動を客観的にとらえる。 速さ(スカラー)と速度(ベクトル)の違いを理解する。				
	5月	落体の運動			直線運動の発展として, 放物運動について理解する。				
	6月	第2章 力と運動 力			力(ベクトル)の表し方, 種類, 単位について理解する。 力の合成と分解, 力のつり合いについて理解する。				
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	運動の法則, 様々な力と運動			ニュートンの運動の三法則について理解し, 任意の運動に 関しての運動方程式を立てられるようにする。				
後期	10月	第3章 仕事とエネルギー 仕事, 運動エネルギー, 位置エネルギー, 力学的エ ネルギーの保存			仕事の定義と計算の仕方について学ぶ。 運動する物体, 重力場にある物体が有するエネルギーを定 式化し, 力学的エネルギーの保存について学ぶ。				
	11月	第2部 熱 第1章 熱とエネルギー 熱と温度, 熱量			熱の概念について理解する。 温度の定義, 比熱と熱容量の違い, 熱量の保存や物体がも つエネルギー(内部エネルギー)の概念について理解を深め る。				
	12月	第2回定期試験							
冬 休 み									
後期	1月	熱と仕事の変換 第3部 波 第1章 波の性質 波の伝わり方, 波の性質			エネルギーの変換と保存について理解を深める。 波に共通する性質を理解する。 波形, 正弦波, 波の独立性・重ね合わせ・反射について学 ぶ。				
	2月	第2章 音(防災教育) 音波の性質, 音源の振動			身近な波動として縦波である音波について理解する。 音速を学び雷より危険を回避する能力を会得する, 音の三要 素, 共振, 共鳴からの固有振動について学ぶ。				
	3月	第3回定期試験							
春 休 み									

教科	理科	科目	化学基礎	授業 時数	週2時間	教材	化学基礎 (東京書籍)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年1組(理系)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	物質の成分と構成元素(防災教育)			物質を分類し、その成分の構成粒子について理解する。 物質の精製から、応用例として災害時の飲料水確保を実習する。 原子の構造を理解し、各元素の化学的性質と分類方法を理解する。 イオン結合、共有結合のしくみと性質を理解し、組成式、電子式、構造式を表記できるようにする。				
	5月	原子の構造と元素の周期表							
	6月	化学結合							
	7月	第1回定期試験							
夏 休 み									
前期	9月	化学結合 原子量・分子量・式量			金属結合のしくみと性質について理解し、化学結合の違いから物質を分類できるようにする。 原子や分子の相対質量を理解させる。				
後期	10月	物質質量			原子や分子の質量、個数を扱う方法を理解する。 物質の変化と原子の組み換えを理解する。化学反応を式で表記できるようにし、その量的関係を理解する。				
	11月	化学反応式							
	12月	第2回定期試験							
冬 休 み									
後期	1月	酸と塩基			酸と塩基の定義を理解し、その強弱をpHで表すことを学ぶ。 中和反応とその量的関係について理解する。 中和滴定の器具、操作について学ぶ。				
	2月	中和反応							
	3月	第3回定期試験							
春 休 み									



教科	保健体育	科目	体育	授業 時数	週2時間	教材	ステップアップ高校スポーツ (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年1組								
時期	項目		到達目標						
前 期	3週	<b>【ガイダンス】</b> ・授業説明 ・集団行動  <b>【体づくり運動】</b> <b>&lt;新体カテスト&gt;</b> 握力・上体起こし・長座体前屈・反復横とび・50m 走・20mシャトルラン・立ち幅跳び・ハンドボール投げ	<b>【防災教育】</b> 「生命を守る」ことにおいて体育と防災教育は共通することを理解する。 各種目を通して体育で育成される体力・運動能力を、災害から身を守る行動に役立てる。  集団行動のおもな行動様式を身に付け、機敏・的確に行動する。 集団の約束やきまりを守り、お互いに協働して行動する。  体力・運動能力の状態を確かめるためのテスト。この結果をよく分析して、不足している能力を高めるためにいろいろなスポーツ活動に親しみ、心身を鍛錬して健康で充実した生活が送れるようにする。						
	6週	<b>【バスケットボール】</b> 1. クローズドスキルアップトレーニング 各シュート(ドリブル・パス・セット) 2. オープンスキルアップトレーニング 対人プレー(1対1・2対1) 3. ゲーム	・シュートの正確率を向上させ、対人プレーのなかでも確実にシュートを決める技能を身に付ける。  ・人数制限、ゲームでの攻防において、個のパフォーマンスを出すことと、チーム貢献のプレーもできる。						
後 期	7週	<b>【卓球】</b> 1. 個人的技能 各パフォーマンス向上トレーニング (ステップ・フォアハンド・バックハンド・サーブ) 2. 対人的技能 ラリーゲーム・クロスラリーゲーム シングルゲーム・ダブルスゲーム	・各シングにおいて、ラケットを振り切ることができる。 ・ゲームのなかで、ラリー中心の展開が続いても相手の体勢を崩して強打を打ち、ポイントを取ることができる。						
	7週	<b>【サッカー】</b> 1. 個人的技能① 各種のキック・トラップ・リフティング (インサイド・アウトサイド・足裏の使い方) 2. 個人的技能② 中長距離のパス (インフロント・インステップのキック) 3. 集団(対人)的技能① トリカゴ・ミニゲーム 4. 集団(対人)的技能② ゲーム	・正面のパス、左右へのパスができる。 ・足の様々な箇所ですトラップができる。  ・助走をつけて遠くへ飛ばすキックができる。 ・動いているボールにアジャストできる。 ・高低差、曲がるボールを蹴ることができる。 ・ボールを保持する時間を長くして、両サイドを上手に使いながらゲーム展開できる。						

教科	保健体育	科目	保健	授業 時数		週1時間		教材	現代高等保健体育 (大修館書店)	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年1組										
時期		項目			到達目標						
前 期	4月	2単元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における社会 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法			<b>【防災教育】</b> ・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・安全のために必要な個人の行動について説明できる。 ・個人の取り組みと交通環境の整備を説明できる。 ・応急手当の意義について説明できる。 ・けがや熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる。 ・心肺蘇生法の方法と手順について説明できる。  ・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・思春期における体の変化を異性を分けて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを説明できる。 ・妊娠、出産の過程における健康課題について説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 ・結婚生活に必要な考え方や行動をあげることができる。 ・加齢にともなう心身の変化について説明できる。 ・働くことの意義と健康との関わりについて説明できる。 ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・職場の健康に関する取り組みについて説明できる。						
	5月	3単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶									
	6月	6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活									
	7月	【第1回 定期試験】									
	夏休み										
前 期	9月	4単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康			・大気に関わる地球規模の健康問題について説明できる。						
後 期	10月	2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策			・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌の複合的な環境汚染の発生を説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康に関わる課題を説明できる。 ・食品の安全性と健康との関わりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・食品の安全確保の行政や製造者の役割を説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割を説明できる。						
	11月	4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動									
	12月	【第2回 定期試験】									
	冬休み										
後 期	1月	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用			・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。 ・我が国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・様々な医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい使用方法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。 ・国際機関、民間機関の保健活動について説明できる。 ・行政機関による社会的対策について説明できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。						
	2月	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加									
	3月	【第3回 定期試験】									
春休み											

教科	保健体育	科目	武道(剣道)	授業 時数		週2時間		教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年(選択)										
	時期	項目			到達目標						
前期	4月	《ガイドンス》 (柔道・剣道合同) 授業内容・指導方法の説明 柔道・剣道の選択			剣道の歴史や精神を学ぶとともに武道の特性である礼に始まり礼に終わるなどから礼儀正しく、他を思いやる心を養う。剣道の基本である正しい姿勢を身につけ、安全性に留意して練習する態度を養う。						
	5月	礼法・正座の正しい方法 剣道着の着装			体のサイズに合った剣道着を着る。						
	6月	足捌き…送り足 竹刀の名称と注意			前後左右の足の使い方から基本動作を身につける。 竹刀の名称を覚えるとともに竹刀の危険性と刀として、大切に扱うことから物を大事にする心を養う。						
	7月	構え 素振り…面・小手・胴の三挙動			正しい姿勢・正しい竹刀の握り方を覚える。 大きい動作で大きい声を出して行う。						
		試験 素振り…面・小手・胴一挙動 小片面二挙動 小片面胴三挙動			足捌き 大きい動作で円滑に連続素振りができる様にする。 小手と面の位置を明確にする。						
		試験			素振り						
夏 休 み											
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 踏み込み足			安全な経路の確認、自助について学ぶ。 姿勢が崩れない様に右足で踏み込み左足を蹴って引き付ける。						
		打ち込み…元立ちを付けて行う 面・小手・胴の打ち込み			姿勢が崩れない様に声・打突・踏み込みを同時にし、気剣体一致の打ち込みができる様にする。						
後期	10月	防具のつけ方・しまい方			防具の説明。防具の正しいつけ方。最後まで丁寧に片付けをする。						
	11月	基本打ち…面			気剣体一致の打ちを出来る様にする。元立ちを出来る様にする。						
	12月	切り返し 試験			大きく正しく出来るようになる。 基本打ち…面						
冬 休 み											
後期	1月	切り返し			大きく正しく出来る様にする。切り返しによって、あらゆる基本動作を身につける。						
		手拭いを用いた防災活用術			包帯や三角巾などの活用術を身につける						
	2月	基本打ち…面・小手・胴			正しい姿勢から大きく打ち込む。面・小手・胴打ちの違いを理解させ正しい体捌きを身につける。						
	3月	試験			切り返し						
春 休 み											

教科	保健体育	科目	武道(柔道)	授業 時数	週2時間	教材		種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程 2年(選択)								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	《ガイドランス》(柔道・剣道合同) 授業内容、指導方法の説明 柔道・剣道の選択			柔道の歴史や精神を学ぶとともに武道の特性である、礼に始まり礼に終わるなどから、礼儀正しく、他を思いやる心を養う。柔道の基本である正しい姿勢を身につけ、安全性に留意して練習する態度を養う。全て安全最優先で行う。				
		柔道の基本(着衣・礼法・歴史)			礼法は正しく日常でも出来るようにする。				
	5月	受身の取り方(後・横・前)			全ての受身は、頭をつかないようになるまで行う。				
	6月	受身の取り方(前回り受身)			スムーズに回転して強く畳を叩くこと。				
	7月	試験			前回り受身を左右行う。				
夏 休 み									
前期	9月	災害時の武道場からの避難経路確認、身の守り方 投げ技(大腰)			安全な経路の確認、自助について学ぶ かかり練習(打ち込み) 受身の取り方を確実にする。 投げは、相手に配慮をして投げる。受は投げに投げやすく配慮する				
後期	10月	投げ技 (背負い投げ・体落とし・大外刈り)			どの方向に投げられても確実に受身をとれること。				
	11月	投げ技 (背負い投げ・体落とし・大外刈り) 試験			投げは、相手に配慮をして投げる。 受は投げに投げやすく配慮する。 背負い投げ・相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。抑技のポイント、逃れ方を覚える。				
	12月	固め技一抑技(袈裟固め・横四方固め・上四方固め) 立技、固め技の約束練習(乱取り) 立技、固め技の自由練習(乱取り)			立技は投げる事より受身を重視 初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受身は正確にする)安全最優先で行わせる。 相手に配慮をして投げる。確実に受身を取れるようにする。				
冬 休 み									
後期	1月	立技、固め技の自由練習(乱取り)			立技は投げる事より受身を重視する。				
	2月	立技、固め技の自由練習(乱取り)			初めは約束稽古を行い少しずつ強度を上げて行えるようにする。(受け身は正確にする)安全最優先で行わせる。				
	3月	試験			体落とし・大外刈り 相手に配慮をした投げ方、受身の取り方を評価する。				
春 休 み									

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	授業 時数	週 4 時間	教材	COMET English Communication Ⅱ	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組								
	時期	項目				到達目標			
前期	4月	<b>Lesson1 Places Worth Visiting</b> want, ask, tell +人+to 不定詞				○行ってみたい場所を英語で説明する			
	5月	<b>Lesson2 Iwago Mitsuaki:Animal Photographer</b> 疑問詞+to 不定詞				○好きな写真を英語で紹介する			
	6月	<b>Lesson3 The Haka</b> 現在分詞・過去分詞				○世界の文化を英語で説明する			
	7月	<b>Lesson4 Digital Detox</b> if節・疑問詞節  第一回定期試験(Lesson 1~4)				○デジタル機器との関わり方について意見を述べる 第1回英語検定対策及び防災に関連付けた授業を取り入れる			
夏休み	7月	夏休みの課題				既習事項の復習			
	8月								
前期	9月	<b>Lesson5 Goal Setting</b> It seems that…				○目標を英語で述べる			
後期	10月	<b>Lesson6 The High School Hair Salon</b> 助動詞+have+過去分詞形				○就きたい職業を英語で述べる			
	11月	<b>Lesson7 You Can Make a Difference</b> 過去完了形				○環境のためにできることを英語で述べる			
	12月	<b>Lesson8 Nudge</b> 関係代名詞 what  第二回定期試験(Lesson 5~8)				○身の回りの問題の解決策や工夫を英語で述べる			
冬休み	12月	冬休みの課題				まとめ問題			
	1月								
後期	1月	<b>Lesson9 The Father of Braille Blocks</b> 関係副詞				○誰もが暮らしやすい社会について考える			
	2月	<b>Lesson10 Do We Need That?</b> 使役動詞				○必要・不要だと思うサービスを英語で述べる			
	3月	第三回定期試験(Lesson 9,10)							
春休み	3月	春休みの課題				2年生の総復習			
備考									

教科	英語	科目	論理・表現 I	授業 時数		週2時間		教材	BIG DIPPER English Logic and Expression I	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組										
時期		項目				到達目標					
前期	4月	Lesson1 はじめに①「誰が」「～する」をはっきりと				日本語でよく省略される主語などに注意して英語の文を表現できる					
	5月	Lesson2 はじめに② 動詞をうまく使おう				伝えたい内容を、適切な動詞を用いて表現できる					
		Lesson3 はじめに③ 名詞の数などに気を付けよう				不可算名詞、冠詞など英語特有のルールを意識する					
	6月	Lesson4 My Friends				自分や友人の日常の習慣や得意・不得意を表現する					
		Lesson5 My Family				家族など身近な人について英語で表現できる					
7月	ここまででの復習と発展問題 <b>第1回定期試験 Lesson1～5</b>				英語検定対策、リスニング問題等も各レッスンに取り入れる。また、防災に関連付けた授業を行う。						
夏休み	8月	夏休みの課題				既習事項の総復習					
前期	9月	Lesson6 Pastime				未来形を使い、余暇の予定や計画について表現する					
		Lesson7 My Town				現在完了形を使い、自分の町について紹介する					
後期	10月	Lesson8 Our Teachers				助動詞を使い分け、能力・許可・推量を英語で表現する					
		Lesson9 Visiting a Museum				助動詞を使い分け、義務・必要・後悔を英語で表現する					
	11月	Lesson10 Famous People				look＋形容詞等を使い、有名人について表現する					
	12月	ここまででの復習と発展問題 <b>第2回定期試験 Lesson6～10</b>				英検のWriting問題演習や、各種英文読解も授業に取り入れ、多角的に英語を使う力の習得を目指す。					
冬休み		冬休みの課題				既習事項の総復習					
後期	1月	Lesson11 Reading				受動態を使い、読書や感情に関する事柄を表現する					
		Lesson12 Studying Abroad				疑問詞＋不定詞等を使い、希望や目標、物事を行う方法や手順を表現する					
	2月	Lesson13 Advice				各種不定詞を使い、助言や頼み事について表現する					
		Lesson14 Hobbies				動名詞を使い、趣味や日常の活動について表現する					
3月	ここまででの復習と発展問題 <b>第3回定期試験 Lesson11～14</b>										
春休み		春休みの課題				既習事項の総復習					

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ	授業 時数		週2時間		教材	BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ	種 別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組 選択										
時期		項目			到達目標						
前期	4月	Lesson1 School Festival			動詞の現在形・過去形・進行形を理解して 自分の生活について表現する						
	5月	Lesson2 A trip to Sapporo			未来の予定や計画を考え、英語で表現する						
		Lesson3 My dear Friend			現在完了形を理解して自分の経験等を伝える						
	6月	Lesson4 A Dog in a Barbershop			助動詞を習得し、過去の状態や習慣について表現する						
		Lesson5 Japanese Food			受動態を使い、「～だと言われている」などを表現する						
7月	<b>第1回定期試験</b> Lesson1～5			英語検定対策、リスニング演習も各レッスンに取り入れる。また、防災に関連付けた授業を行う。							
夏休み	8月	夏休みの課題			既習事項の総復習						
前期	9月	Lesson6 Volunteer Activities			使役動詞、知覚動詞の使いかたを習得する。						
		Lesson7 A Stage Actor			完了形の不定詞を理解し、偉人の伝記を読んでみる						
後期	10月	Lesson8 I Like Singing			不定詞・動名詞を習得し、自分の趣味や特技を表現する						
	11月	Lesson9 Cycling			「～しに行く」「～しながら」などを英語で表現する						
		Lesson10 My New Hiking Boots			比較表現をマスターし、各種図表を用いて表現する						
12月	<b>第2回定期試験</b> Lesson6～10			リスニング演習や、各種英語長文読解も授業に取り入れ、多角的に英語を使う力の習得を目指す。							
冬休み		冬休みの課題			既習事項の総復習						
後期	1月	Lesson11 The Yangtze River			比較表現(発展)を使い、世界の名所について描写する						
		Lesson12 My Sister's Job			関係代名詞を使い、人物の補足説明をする						
	2月	Lesson13 In Kansas City			関係副詞を使い、場所や時の補足説明をする						
		Lesson14 Dreaming of Space			仮定法を理解し、事実と異なることを英語で表現する						
3月	<b>第3回定期試験</b> Lesson11～14										
春休み		春休みの課題			既習事項の総復習						

教科	情報	科目	情報 I	授業 時数	週2時間	教材	図説情報 I (実教出版)	種別	高校
学年 組 類型	高等学校全日制1年1組～8組 定時制2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス</li> <li>・情報社会と私たち:教科書・序章(p4～p9)</li> <li>・Word使い方</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・これから学ぶ情報の重要性について理解する。情報のもつ特性から情報の正しい扱い方を理解する。</li> <li>・Wordを用いて文字入力の仕組みと方法を理解させ、文字の配置やフォント、サイズ、種類の変更罫線の引き方やその体裁の整い方などを説明し、十分に練習する。</li> </ul>				
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会と問題解決:教科書・第1章(p12～p38)</li> <li>・Excel使い方</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を適切に収集、分析し問題解決に役立てることができる。自分の持っている情報の重要性や知的財産権等の権利について理解する。</li> <li>・Excelを用いてわかりやすい表の作成方法を身に着ける。関数を用いた自動計算の方法を身に着ける。</li> </ul>				
	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションと情報デザイン:教科書・第2章(p40～p64)</li> <li>・PowerPoint使い方</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアの特性について理解し、メディアリテラシーを身に着ける。情報デザインについて理解し、効率的な情報伝達の手法を身に着ける。</li> <li>・PowerPointを用いて自分の考えを効率的に伝える手法を身に着ける。</li> </ul>				
	7月	第1回定期試験:教科書・序章～第2章、実技							
夏 休 み	8月								
前期	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報とコンピュータ:教科書・第3章(p66～p94)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルデータの表現手法を理解する。2進数について理解する。PCの構造について理解する</li> </ul>				
後期	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムとプログラム:教科書・第4章(p96～p113)</li> <li>・フローチャート</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルゴリズムの基本構造について理解し、問題解決に役立てる手法を身に着ける。プログラミングの基本について理解する。</li> <li>・フローチャートの作図法を身に着け、アルゴリズムについて理解を深める。</li> </ul>				
	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル化とデータ活用:教科書・第5章(p116～p140)</li> <li>・Scratch(プログラミング)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル、シミュレーションの目的と手法を身に着ける。より高度なデータの収集と分析の手法を身に着ける。</li> <li>・プログラミングの基本的な構造や手法を身に着ける。</li> </ul>				
	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Scratch(プログラミング)</li> </ul> 第2回定期試験:教科書・第3章～第5章、実技			<ul style="list-style-type: none"> <li>・配列、リスト、関数、繰り返し処理、条件分岐について理解する。</li> </ul>				
冬 休 み	1月								
後期	1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークと情報システム:教科書・第6章(p142～p164)</li> <li>・Python(プログラミング)</li> <li>・防災学習</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークの構造やインターネットについて理解し、情報通信の仕組みについて理解する。情報セキュリティについて理解し、正しくネットを扱う手法を身に着ける。</li> <li>・Scratchで行ったことをPythonで再現し、プログラミングについてより理解する。</li> <li>・災害時のネット利用について知識を深める。</li> </ul>				
	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル&amp;セキュリティp84～p88</li> <li>・Python(プログラミング)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における情報のモラルやマナーについて理解する。</li> <li>・日常生活に存在する様々な事柄をプログラムにすることを通じてプログラミングについての知識をより深める。</li> </ul>				
	3月	第3回定期試験:教科書・第6章、情報モラル&セキュリティp84～p88、実技							
春 休 み									



教科	家庭科	科目	家庭総合	授業 時数	週2時間	教材	家庭総合 自立・共生・創造	種別	高校
学年 組 類型	高等学校定時制課程2年1組								
	時期	項目			到達目標				
前期	4月	<b>第1章 生涯を見通す</b> 人生を展望する 目標を持って生きる			<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。</li> <li>・今の自分を自己分析し、生活設計することができる。</li> <li>・生涯を見通して自分のライフスタイルを考え、さまざまな生き方について理解する。</li> <li>・社会制度としての家族や家族の法律を理解する。</li> <li>・命に対する責任や命の誕生についての知識を身につける。</li> <li>・子どもの心身の発達について理解する。</li> </ul>				
	5月	<b>第2章 人生を作る</b> 家族・家庭を見つめる							
	6月	<b>第3章 子どもと共に育つ</b> 命を育む 子どもの育つ力を知る							
	7月	<b>第1回定期試験</b>							
夏 休 み									
前期	9月	<b>第6章 食生活をつくる</b> 食品の選択と安全 食生活の文化と知恵			<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の表示や添加物、食中毒や食物アレルギーの知識を身につける。</li> <li>・郷土食や行事食の良いところを継承・創造するために日本の食文化の特徴を理解する。</li> <li>・食生活の自立に必要な調理の知識を身につける。</li> </ul>				
		調理の基礎							
後期	10月	<b>調理実習</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な調理技術の習得する。</li> <li>・住居の機能を理解し、ライフステージに応じた住まい方を考えることができる。</li> <li>・防災、日照、換気について理解し、快適かつ安全な生活を行うことができる。</li> </ul>				
	11月	<b>第8章 住生活をつくる</b> 住生活の変遷と住居の機能 安全で快適な住生活の計画							
	12月	住生活の文化と知恵 <b>第2回定期試験</b>							
冬 休 み									
後期	1月	<b>第4章 超高齢社会を共に生きる</b> 超高齢・大衆長寿社会の到来 高齢期の心身の特徴			<ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢化社会について理解する。</li> <li>・加齢に伴う心身の変化を理解し、高齢期を支える社会の仕組みや課題を考えることができる。</li> </ul>				
	2月	これからの超高齢社会							
	3月	<b>第3回定期試験</b>							
春 休 み									